



平成27年1月16日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

名古屋港東航路における危険物の探査を実施 ～平成27年1月15日から開始～

1. 概要

国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所ではドラグ浚渫兼油回収船「清龍丸」(総トン数4,792トン)により名古屋港東航路の増深事業を進めていますが、浚渫作業中に高潮防波堤南約4kmの東航路3番ブイ付近(愛知県知多市沖)で2回不発弾を発見しました(平成26年11月20日及び12月2日)。

そのため、同事務所では平成27年1月15日より名古屋港東航路において危険物の有無を確認するため磁気探査を開始し(受注者:大和探査技術株式会社)、航路内の安全確保に努めます。

なお、磁気探査による調査期間は約2週間であり、異常物が発見された場合は潜水探査による詳細調査を実施する予定です。

<参考>

磁気探査とは不発弾等の有無、埋没位置の把握を目的として、不発弾等の危険物が主に鉄類で出来ていることを利用して、磁気変化を探査計で測定するものです。

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801